

2020年(令和2年)
7月27日
No.1418
毎週月曜日発行(第5週を除く)
発行人:加賀光次郎
年間購読料 20,000円+消費税

リフォーム産業新聞
The Japan Journal of Remodeling

発行所:(株)リフォーム産業新聞社
電通大塚取組グループ
本社:104-0061
東京都中央区銀座8-11-1
TEL:03(6252)3450 FAX:03(6252)3461
大阪支局:530-0005
大阪府大阪市北区中之島2-3-18
中之島フェスティバルタワー16階
暮らしをよくする、専門メディア

カチタス首位独走、年4305戸を販売
ビルダーのフジ住宅、2位に浮上

買取再販年間販売戸数ランキング 2020 RANKING
1 カチタス 4305
2 フジ住宅 1707
3 大京穴吹不動産 1511
4 リプライス 1496
5 ベストランド 1463
6 インテリクス 1352
7 イーランド 931
8 レジデンシャル不動産 913
9 スターマイカ・ホールディングス 886
10 オークラヤ住宅 753

大京穴吹不動産、ベスト3に

中古住宅を買い取ってリフォーム後に再販売するビジネス「買取再販」。本紙編集部では、同社を手掛ける企業の年間販売戸数を調査し、ランキングをまとめた。さらに今回は、買取再販事業の売上高を基準にした売上ランキングもまとめたところ、両ランキング共にトップはカチタス(群馬県桐生市)となった。近年、買取再販ビジネスに参入する業者は増えており、新たなプレイヤーも上位にランキングし始めている。

埼玉のレジデンシャル、大手追う

戸建て分譲だが、近年中古住宅再生にも本業を投入してきており、新築も中古もバランス良く手掛ける珍しいビジネスモデルを展開している。3位の大京穴吹不動産(東京都渋谷区)は前年から57戸増の1511戸。順位も4位から1つ上げた。同社はオリジナルブランドで新築マンション開発を手掛ける大京の子会社「不動産仲介が軸ではあるが、同時に物件の買取も手掛けている。大京リフォーム・デザインを吸収合併しているため、買い取った物件の再生にも強み。近年、不動産仲介業者の参入が増えているが、その中でも最も販売戸数が多い。4位のリプライス(愛知県名古屋市中区)は前年から140戸増の1496戸。同社は1位のカチタスに比べると都市部寄りの再販を手掛ける。(次ページへ続く)

Table with 15 columns: Rank, Company Name, Annual Sales Volume (Units), Annual Sales Volume (Price), Average Sales Price (Price/Unit), Average Annual Sales Volume (Price/Year), Average Area (sqm), Mansion Ratio (%), New Construction Ratio (%), Average Cost (Price/Unit), Average Completion Period (Days), Gross Profit Rate (%), Total Annual Sales Volume (Price), Company Location, Representative. Rows include World Holdings Group, My Place, Efstage, etc.

特集 買取再販ランキング

買取再販事業 売上ランキング

| 順位 | 社名          | 年間売上高(億円) | 順位 | 社名                 | 年間売上高(億円) |
|----|-------------|-----------|----|--------------------|-----------|
| 26 | 東京テアトル      | 50.4      | 1  | カチタス               | 610.0     |
| 26 | ランドネット      | 50.4      | 2  | 大京穴吹不動産            | 385.4     |
| 28 | 三春情報センター    | 50.0      | 3  | フジ住宅               | 381.8     |
| 29 | ラ・アトレ       | 47.9      | 4  | インテリックス            | 313.0     |
| 30 | MUSUBU      | 45.8      | 5  | スター・マイカ・ホールディングス   | 288.6     |
| 31 | ケイアイスター不動産  | 42.7      | 6  | リプライス              | 284.0     |
| 32 | アイビーアイ      | 40.0      | 7  | 大和ハウス工業            | 256.3     |
| 33 | タカラレーベン     | 34.3      | 8  | マイプレイス(旧トータルエステート) | 231.0     |
| 34 | 中央住宅        | 26.8      | 9  | ベストランド             | 213.0     |
| 35 | 相鉄リナプス      | 25.6      | 10 | エフステージ             | 210.3     |
| 36 | 中古住宅情報館     | 25.0      | 11 | オークラヤ住宅            | 197.3     |
| 37 | 幸せホーム       | 22.5      | 12 | イーランド              | 184.9     |
| 38 | 花菱不動産       | 18.2      | 13 | 未来都市開発             | 176.0     |
| 38 | 明和地所        | 18.2      | 14 | 長谷工リアルエステート        | 172.1     |
| 40 | プレシャス       | 17.0      | 15 | グローバルベイス           | 153.1     |
| 41 | ウダツ         | 16.5      | 16 | ホームネット             | 150.7     |
| 41 | リアル         | 16.5      | 17 | レジデンシャル不動産         | 150.0     |
| 43 | リビングライフ     | 15.0      | 18 | リビタ                | 132.0     |
| 44 | 大和財託        | 14.0      | 19 | タイセイ・ハウジーリバース      | 115.8     |
| 45 | 三交不動産       | 13.2      | 20 | リズム                | 110.1     |
| 46 | 不動産SHOPナカジツ | 11.0      | 21 | スプリングエステート         | 73.0      |
| 46 | ゼウス・リアル     | 11.0      | 22 | アート・クラフト・サイエンス     | 66.2      |
| 48 | 日新ハウジング     | 10.3      | 23 | 東武住販               | 55.0      |
| 49 | 住友林業        | 7.6       | 24 | あなぶき興産グループ         | 54.6      |
| 50 | ウッディ        | 7.3       | 25 | ムゲンエステート           | 52.9      |

カチタス、売上高も断トツの610億円  
 大和ハウス7位に、中古流通で存在感

買取再販事業の売上高をベースにランキング化したところ、販売戸数でトップのカチタスが売り上げでも断トツ1位となった。大京穴吹不動産やインテリックス、スターマイカ、ホールディングスなどは首都圏において単価の高い物件販売に成功するなど上位にランクインした。また、大和ハウス工業は7位に入るなど、中古住宅流通ビジネスでも存在感を示し始めている。

販売戸数トップのカチタスは56億円の増収の610億円の増収となった。インテリックスの288億6000万円、ベストランドの213億000万円、フジ住宅の381億8000万円、大京穴吹不動産の385億4000万円、スター・マイカ・ホールディングスの288億6000万円、リプライスの284億000万円、大和ハウス工業の256億3000万円、マイプレイス(旧トータルエステート)の231億000万円、ベストランドの213億000万円、エフステージの210億3000万円、オークラヤ住宅の197億3000万円、イーランドの184億9000万円、未来都市開発の176億000万円、長谷工リアルエステートの172億1000万円、グローバルベイスの153億1000万円、ホームネットの150億7000万円、レジデンシャル不動産の150億000万円、リビタの132億000万円、タイセイ・ハウジーリバースの115億8000万円、リズムの110億1000万円、スプリングエステートの73億000万円、アート・クラフト・サイエンスの66億2000万円、東武住販の55億000万円、あなぶき興産グループの54億6000万円、ムゲンエステートの52億9000万円。

2位は、販売戸数3位の大京穴吹不動産の385億4000万円、前年から33億円の増収となった。販売単価は2550万円とやや高価格帯の物件を販売している点が売り上げを押し上げた。  
 3位は、販売戸数2位のフジ住宅で、前年から52億円の増収の381億8000万円。2位の大京穴吹不動産には販売戸数では勝っているが、両社の違いは平均販売価格。同社の価格は3000万円程度低くなっている。

4位は、販売戸数6位のインテリックスの313億000万円。前々期は減収となったが一転、今回は25億円の増収。同社も単価が2000万円とやや高い。これらを年13000戸近く販売できる点が強みだ。  
 5位は、販売戸数9位の

7位は、販売戸数17位の大和ハウス工業の256億3000万円。同社は4000億〜5000億円という高額の価格設定で販売戸数を142戸増やし、前回の売上高19位から今回7位と急上昇した。また85億円の増収は、今回のランキング企業の中でトップ。同社は中古マンションのリノベーションを手掛けるグループ会社のコスモイニシア(東京都港区)と合わせ、売上高300億円超を狙っている。

8位は、販売戸数8位のマイプレイス(旧トータルエステート)の231億000万円。前年から19億円の増収だった。戸建て中心ではあるが、マンション比率が26%と拡大している。